平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名　株式会社 高見沢サイバネティックス　　上場取引所　JQ
コード番号　6424　URL　http://www.tacy.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高見澤　和夫
問合せ先責任者（役職名）専務取締役　（氏名）広田　和資　TEL 03-3227-3361
四半期報告書提出予定日　平成21年11月13日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満切捨て）

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,200	△25.3	△629	—	△644	—	△495	—
21年3月期第2四半期	4,285	27.3	△322	—	△346	—	△265	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△55.06	—
21年3月期第2四半期	△29.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	8,306	486	5.9	54.08
21年3月期	10,551	955	9.1	106.23

（参考）自己資本　22年3月期第2四半期　486百万円　21年3月期　955百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00			
22年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成22年3月期の連結業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,420	4.7	145	—	65	—	100	—	11.12

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

新規 ―社 （社名 ） 除外 ―社 （社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	9,050,000株	21年3月期	9,050,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	56,310株	21年3月期	55,450株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	8,993,859株	21年3月期第2四半期	8,994,550株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間におけるわが国経済は、一部持ち直しの動きが見られるものの、企業収益の大幅な減少が続き、雇用情勢も悪化傾向で推移するなど依然として厳しい状況が続きました。

このような経済環境のもとで、当連結グループは、交通システム機器部門においては、計画どおり順調に推移したものの、前年同四半期と比べて新規路線開通に伴う特需がなくなったことにより売上高は大幅に減少しました。メカトロ機器部門においては、新製品への過渡期案件の売上げが減少しましたが、海外向けユニット製品の輸出が増加したことにより、前年同四半期とほぼ同等で推移しました。また、特機システム機器部門においては、企業の設備投資の抑制によりセキュリティシステムの販売が減少しましたが、防災計測システムが堅調に推移したことにより、前年同四半期と比べて微増となりました。以上により、売上高は 19 億３千７百万円（前年同四半期比 9.6%減）となりました。損益面につきましては、徹底した経費の圧縮・原価の低減に取り組んだことにより、営業損失は１億２千９百万円（前年同四半期は１億６千１百万円の損失）、経常損失は１億２千８百万円（同１億７千６百万円の損失）、四半期純損失は８千４百万円（同１億１千９百万円の損失）となりました。

なお、平成 22 年３月期第１四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報につきましては、平成 22 年３月期第１四半期決算短信（平成 21 年８月 14 日開示）をご参照ください。

２．連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は 83 億６百万円となり、前連結会計年度末に比べ 22 億４千５百万円減少致しました。主に現金及び預金の減少 15 億７千９百万円、受取手形及び売掛金の減少９億９千８百万円、仕掛品の増加１億５千７百万円によるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は 78 億１千９百万円となり、前連結会計年度末に比べ 17 億７千６百万円減少致しました。主に支払手形及び買掛金の減少６億７千９百万円、短期借入金の減少８億３千５百万円、賞与引当金の減少５千８百万円によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は４億８千６百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億６千９百万円減少致しました。主に利益剰余金の減少４億９千５百万円、その他有価証券評価差額金の増加２千６百万円によるものです。

３．連結業績予想に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間及び通期予想につきましては、平成 21 年５月 15 日の決算短信で発表しました業績予想から修正いたしました。当該予想に関する詳細は、平成 21 年 11 月６日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

４．その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

②原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産「その他」として繰り延べております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成21年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,247	2,346,535
受取手形及び売掛金	1,918,582	2,917,449
商品及び製品	537,767	645,520
仕掛品	823,758	666,525
原材料及び貯蔵品	636,578	628,951
その他	559,530	263,818
流動資産合計	5,243,465	7,468,800
固定資産		
有形固定資産	2,200,162	2,226,673
無形固定資産	88,138	108,021
投資その他の資産	774,419	747,802
固定資産合計	3,062,719	3,082,497
資産合計	8,306,184	10,551,298
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,088,111	1,767,153
短期借入金	3,490,500	4,325,500
未払法人税等	8,922	13,454
賞与引当金	72,342	131,002
その他	296,030	464,078
流動負債合計	4,955,907	6,701,189
固定負債		
退職給付引当金	2,285,820	2,293,991
役員退職慰労引当金	95,380	93,549
その他	482,669	507,073
固定負債合計	2,863,870	2,894,613
負債合計	7,819,777	9,595,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,700	700,700
資本剰余金	722,424	1,085,538
利益剰余金	△923,521	△791,413
自己株式	△41,021	△40,771
株主資本合計	458,581	954,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,825	1,442
評価・換算差額等合計	27,825	1,442
純資産合計	486,407	955,495
負債純資産合計	8,306,184	10,551,298

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	4,285,775	3,200,942
売上原価	3,368,418	2,735,928
売上総利益	917,357	465,013
販売費及び一般管理費	1,239,910	1,094,834
営業損失（△）	△322,552	△629,820
営業外収益		
受取利息	1,368	358
受取配当金	5,409	3,943
受取補償金	3,596	－
不動産賃貸料	4,191	6,057
助成金収入	－	16,147
その他	6,537	7,984
営業外収益合計	21,102	34,491
営業外費用		
支払利息	38,882	44,111
その他	6,597	5,506
営業外費用合計	45,479	49,617
経常損失（△）	△346,929	△644,946
特別利益		
国庫補助金	5,000	－
特別利益合計	5,000	－
特別損失		
固定資産除却損	323	365
貸倒引当金繰入額	475	－
特別損失合計	798	365
税金等調整前四半期純損失（△）	△342,728	△645,311
法人税、住民税及び事業税	12,062	5,762
法人税等調整額	△89,769	△155,852
法人税等合計	△77,706	△150,089
四半期純損失（△）	△265,021	△495,221

（第２四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結会計期間 （自　平成20年７月１日 至　平成20年９月30日）	当第２四半期連結会計期間 （自　平成21年７月１日 至　平成21年９月30日）
売上高	2,144,399	1,937,935
売上原価	1,693,379	1,523,535
売上総利益	451,019	414,399
販売費及び一般管理費	612,179	543,401
営業損失（△）	△161,159	△129,002
営業外収益		
受取利息	720	173
受取配当金	126	141
受取補償金	620	－
不動産賃貸料	2,095	3,961
助成金収入	－	16,147
その他	3,454	5,245
営業外収益合計	7,017	25,670
営業外費用		
支払利息	18,095	21,411
その他	4,003	3,461
営業外費用合計	22,099	24,872
経常損失（△）	△176,241	△128,205
特別利益		
国庫補助金	5,000	－
特別利益合計	5,000	－
特別損失		
固定資産除却損	323	365
貸倒引当金繰入額	475	－
特別損失合計	798	365
税金等調整前四半期純損失（△）	△172,039	△128,570
法人税、住民税及び事業税	2,916	2,954
法人税等調整額	△55,083	△47,014
法人税等合計	△52,166	△44,059
四半期純損失（△）	△119,873	△84,511

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。